



はーと なび



一般社団法人 全国腎臓病協議会 通院介護委員会

〒170-0021 東京都文京区本駒込 2-29-24 パシフィックスクエア千石 802

2018年8月24日発行

TEL:03(5395)2631 FAX:03(5395)2831 E-mail:sougei@zjk.or.jp

全腎協公開シンポジウム

デマンド型交通による通院送迎テーマにシンポジウム 全腎協 通院シンポジウム in 長岡 10月14日開催

全腎協は、本年10月14日に新潟県長岡市において公開シンポジウム“全腎協 通院シンポジウム in 長岡～デマンド型交通による透析患者通院支援の提案～”を開催します。

全腎協は90年代から透析患者の高齢化を見据え、通院送迎のあり方を模索してきました。その間、透析患者の平均年齢は上がり続け、ついに68歳を超えました。今も要介護状態の患者は増えつつあります。また、山間地等を中心に赤字バス路線の廃止など公共交通の後退もすすみ、自家用車に代わる通院手段がないため、やむを得ず自らハンドルを握る患者も少なくありません。一方、地方財政は福祉予算を増やすことが難しい状況が長く続いています。

このような状況下で、新潟県長岡市ではタクシー車両を透析患者の通院送迎専用のデマンド型交通として運行する「長岡方式」通院支援は始まりました。「長岡方式」の特徴は、通院送迎にデマンド型交通という仕組みを取り入れた点もさることながら、行政、交通事業者、医療機関、患者会が協働して運営にあたっている点です。本シンポジウムは、限られた資源でどのように通院できない高齢患者を支援するかを試行錯誤してきた“長岡方式”の軌跡を事例発信する企画です。

企画内容は右の通りです（詳細はチラシをご覧ください）。

◆開催日時

2018年10月14日（日）

12:45～16:00（受付開始12:30）

◆会場

ホテルニューオータニ長岡 NCホール
新潟県長岡市台町2丁目8番35号

アクセス：

<http://www.nagaoka-newotani.co.jp/access/>

◆参加費

無料（事前申込不要）

◆プログラム

〈基調講演〉デマンド型交通による透析患者通院支援はなぜ実現したのか～“長岡方式”の仕組みと可能性～

講師：福祉デマンド・ネットワーク研究会
代表世話人／相互タクシー株式会社代表取締役 小川 浩司 氏

〈パネルディスカッション〉

パネリスト：

長岡市福祉保健部長

小村 久子 氏

相互タクシー株式会社代表取締役

小川 浩司 氏

医療法人喜多町診療所看護師長

斎藤 こずえ 氏

一般社団法人全国腎臓病協議会会長

馬場 享 (コデイナー)

《トピックス》

介護保険自己負担「3割」区分導入 現役並み所得の高齢者に 8月より

8月1日から、介護保険制度の自己負担割合に3割という区分が導入されました。

自己負担3割が適用されるのは、現役並み所得のある高齢者とされる方々で、具体的には65歳以上であり合計所得金額が220万円以上の方（単身で年金収入のみの方は、344万円以上）です。所得に応じた自己負担割合についてくわしくは、「はーと・なび No.104」をご覧ください。また、厚生労働省のホームページにも3割負担の導入について説明するパンフレットが掲載されていますので、あわせてご覧ください。

リンク：[厚生労働省パンフレット](#)

また、同じく8月1日から介護保険制度の住宅改修について、原則的に複数の業者から見積書をとることが義務化となりました。これは相見積りをとることで安価な事業者を選択することをもとめるものです。

介護保険は今後さまざまな改定が予定されており、引き続き注視する必要があります。

《事務局より》

■活動状況報告書の提出についてのお願い

いつも通院介護支援事業「活動状況報告書」をご送付いただきありがとうございます。

通院送迎事業所の皆さまにはお手数ですが、引き続き、活動状況報告書のご提出をお願いいたします。

事務局にとって、活動状況報告は日頃の皆様の活動や状況、要望を知ることができる大切な報告書です。お忙しいところ恐れ入りますが、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

■全腎協 講師派遣制度をご活用下さい！

全腎協では腎友会・送迎事業所の立ち上げを検討している方を対象に、勉強会、講演会への講師派遣を行っております。希望開催日の2ヶ月前までに、“通院送迎の講師派遣希望”として、全腎協事務局・送迎担当までお電話下さい。その際、テーマと講師についてご希望をお聞かせ下さい。

【テーマ】

- 全腎協通院介護支援事業の歴史
- 福祉有償運送とは
- 送迎事業所の開設ノウハウ
- 介護保険と通院送迎
- デマンド型交通導入のノウハウ
～地域ぐるみの送迎システム構築について～
- 富山型デイサービスとは ほか

【講師】

馬場 享 通院介護委員（全腎協会長）

秋山 祐一 通院介護委員長（全腎協専務理事）

金子 智 通院介護委員（全腎協常務理事）

池田 充 通院介護委員 ほか

【お申し込み方法】

希望開催日の2ヶ月前までに、“通院送迎の講師派遣希望”として、全腎協事務局・送迎担当までお電話下さい。その際、テーマと講師についてご希望をお聞かせ下さい。

TEL：03-5395-2631

